



## VMware リモート コンソールの有効化

---

この章は、次の項で構成されています。

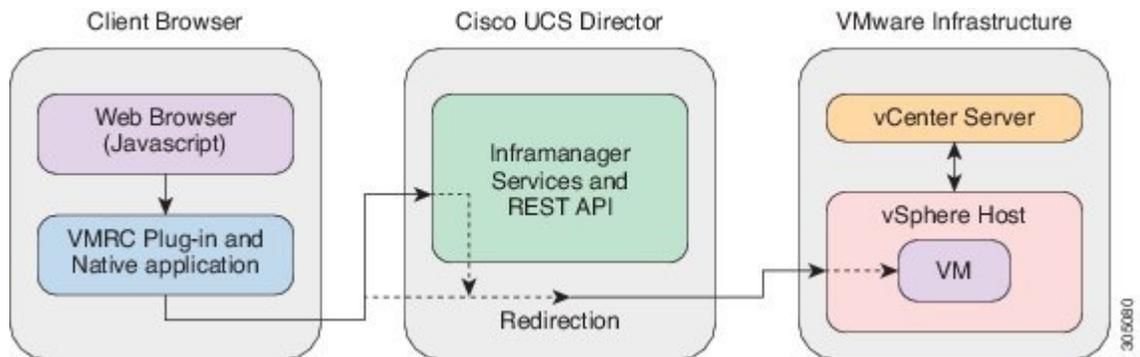
- [VMware リモート コンソール \(VMRC\) について, 1 ページ](#)
- [VMRC の有効化, 2 ページ](#)
- [カタログを使用した VMRC の有効化, 3 ページ](#)
- [VMRC コンソール アクセス用の VM オプションの有効化, 4 ページ](#)
- [Cisco UCS Director での VMRC 対応 Web ブラウザの起動, 4 ページ](#)
- [Cisco UCS Director でのスタンドアロン VMRC プラグインからの VMRC 対応 Web ブラウザの起動, 5 ページ](#)
- [USB デバイスの VMRC への接続, 6 ページ](#)
- [USB デバイスの VMRC からの接続解除, 7 ページ](#)

## VMware リモート コンソール (VMRC) について

VMware vSphere および vCloud Director には、サポート対象のブラウザでロード可能な VMRC ブラウザのプラグインが含まれています。ブラウザで実行する Web アプリケーションは、VMRC ブラウザのプラグインを使用して仮想マシンのコンソール機能にアクセスできます。この場合には VMRC JavaScript API を使用します。VMRC ブラウザのプラグインおよび VMRC API を使用する Web アプリケーションでは、ユーザは、適切な Web ブラウザおよびオペレーティング システム

を持つ任意のシステムから仮想マシンに対してリモートでアクセスし、やりとりすることができます。

図 1: VMRC トポロジ



(注) クライアントブラウザと ESXi ホスト間にファイアウォールがある場合は、VMRC コンソールポート 903 を TCP 経由で開く必要があります。

既存の VMRC ブラウザのプラグインがブラウザのアップデートのために機能しなくなった場合は、スタンドアロン VMRC プラグインを使用することで、VM クライアントを起動して VM コンソールにアクセスできます。



(注) スタンドアロン VMRC プラグインはシステム管理者向けにのみサポートされており、現在、セルフサービスのエンドユーザ向けにはサポートされていません。

VMRC の使用に関する詳細なガイドラインについては、[VMware](#) から入手可能な VMware vSphere のドキュメントを参照してください。

リモート デスクトップ、Web アクセスまたは VNC コンソールを使用しても VM クライアントを起動できます。

代わりとなるアクセス方式を使用した VM クライアントの起動の詳細については、『[Cisco UCS Director Administration Guide](#)』を参照してください。

## VMRC の有効化

デフォルトでは、Cisco UCS Director で検出されるすべての VM に対して、VMRC コンソールは無効になっています。VMRC を有効にする方法は、次の 2 とおりあります。

名前	説明	参照
カタログの使用	VM コンソールの設定オプションが有効になっているカタログを使用して VM のプロビジョニングを完了すると、VM は VMRC コンソールにアクセスできるようになります。	<a href="#">カタログを使用した VMRC の有効化、(3 ページ)</a> を参照してください。
VM オプションの有効化	[仮想 (Virtual) ]>[コンピューティング (Compute) ]の下にある、VM インターフェイスで [VMRC コンソールの有効化/無効化 (Enable/Disable VMRC Console) ]オプションを有効にすることができます。	<a href="#">VMRC コンソール アクセス用の VM オプションの有効化、(4 ページ)</a> を参照してください。

上記のいずれかの方法を使用して、VMRC コンソールにアクセスできるようになったら、VMRC コンソールで VM を起動できます。[Cisco UCS Director での VMRC 対応 Web ブラウザの起動、\(4 ページ\)](#) を参照してください。

## カタログを使用した VMRC の有効化

### 手順

- 
- ステップ 1 メニューバーで、[ポリシー (Policies) ]>[カタログ (Catalogs) ]の順に選択します。
  - ステップ 2 VMRC コンソールへのアクセスを有効にするカタログを選択します。
  - ステップ 3 [編集 (Edit) ]をクリックします。
  - ステップ 4 [カタログの修正 (Modify Catalog) ]ウィザードのすべての画面で、[VM へのアクセス (VM Access) ]画面が表示されるまでデフォルトのまま [次へ (Next) ]をクリックします。
  - ステップ 5 [VMアクセス (VM Access) ]画面の [VMRCコンソールの設定 (VMRC Console Configuration) ]で [有効 (Enable) ]チェック ボックスをオンにします。
  - ステップ 6 [次へ (Next) ]をクリックします。
  - ステップ 7 [概要 (Summary) ]画面で、表示される情報を確認して [送信 (Submit) ]をクリックします。
-

## VMRC コンソール アクセス用の VM オプションの有効化

### 手順

- 
- ステップ 1 メニュー バーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
  - ステップ 2 [VM (VMs)] タブをクリックします。
  - ステップ 3 下向きの矢印ボタンをクリックして、[VMRC コンソールの有効化/無効化 (Enable/Disable VMRC Console)] を選択します。
  - ステップ 4 [VMRC コンソールアクセスを有効化 (Enable VMRC Console Access)] 画面で、[VMRC コンソールの有効化 (Enable VMRC Console)] チェック ボックスをオンにします。
  - ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。
- 

## Cisco UCS Director での VMRC 対応 Web ブラウザの起動

ご使用の Web ブラウザに VMRC プラグインがインストールされている場合は、Cisco UCS Director で VMRC を使用することができます。



- (注) vSphere Web クライアント経由で VM にアクセスできる場合、Cisco UCS Director GUI から VMRC を使用して、VM コンソールにアクセスできます。
- 

### 手順

- 
- ステップ 1 メニュー バーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
  - ステップ 2 [VM] タブを選択します。
  - ステップ 3 [VM] ペインで VM を選択します。
  - ステップ 4 VM を右クリックし、[VM クライアントの起動 (Launch VM Client)] を選択します。
  - ステップ 5 [クライアントの起動 (Launch Client)] ダイアログボックスで、[VMRC コンソール (ブラウザ プラグイン) (VMRC Console (Browser Plugins))] を、VM クライアントを起動するためのアクセス方式として選択します。
  - ステップ 6 [続行 (Proceed)] をクリックします。  
その他のアクセス方式からの VM クライアントの起動の詳細については、『[UCS Director Administration Guide](#)』を参照してください。
-

# Cisco UCS Director でのスタンドアロン VMRC プラグインからの VMRC 対応 Web ブラウザの起動

Cisco UCS Director では、スタンドアロン VMRC プラグインを使用して、VM コンソールにアクセスできます。VMRC スタンドアロン プラグインのオプションは、VMware vCenter バージョン 5.5 以降でのみ使用できます。



(注) 既存の VMRC ブラウザがブラウザの更新により機能しなくなっている場合、スタンドアロンの VMRC プラグインを使用して、VM クライアントを起動できます。

スタンドアロン VMRC プラグインはシステム管理者向けにのみサポートされており、現在、セルフサービスのエンドユーザ向けにはサポートされていません。

## はじめる前に

ローカル システムに VMware リモート コンソールをインストールします。

ローカル システムに VMRC をダウンロードしてインストールする方法は、[www.vmware.com/go/download-vmrc](http://www.vmware.com/go/download-vmrc)を参照してください。

## 手順

- ステップ 1 メニュー バーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2 [VM] タブを選択します。
- ステップ 3 [VM] ペインで VM を選択します。
- ステップ 4 VM を右クリックし、[VM クライアントの起動 (Launch VM Client)] を選択します。
- ステップ 5 [クライアントの起動 (Launch Client)] ダイアログボックスで、[VMRC コンソール (スタンドアロン プラグイン) (VMRC Console (Standalone Plug-in))] を、VM クライアントを起動するためのアクセス スキームとして選択します。
- ステップ 6 [続行 (Proceed)] をクリックします。
- ステップ 7 [アプリケーションの起動 (Launch Application)] ダイアログボックスで、[VMware リモート コンソール (VMware Remote Console)] を選択します。
- ステップ 8 [OK] をクリックします。  
その他のアクセス方式からの VM クライアントの起動の詳細については、『[UCS Director Administration Guide](#)』を参照してください。

## USB デバイスの VMRC への接続

VMRC コンソールに USB パススルー デバイスを接続して、保存された VM 設定ファイルにアクセスできます。



(注) VMRC を VMware vCloud Director で使用する場合、USB デバイスの接続はサポートされません。

VMRC コンソール (ブラウザ プラグイン) を通じた USB デバイス サポートは、Firefox でのみ動作します。

### はじめる前に

- USB コントローラがインストールされている必要があります。
- VMRC コンソールにアクセスする前に、仮想マシンのリモート コンソールのブラウザ プラグインをインストールします。

### 手順

- ステップ 1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2 [VM] タブを選択します。
- ステップ 3 [VM] ペインで VM を選択します。
- ステップ 4 VM を右クリックし、[VM クライアントの起動 (Launch VM Client)] を選択します。
- ステップ 5 [クライアントの起動 (Launch Client)] ダイアログボックスで、[VMRC コンソール (ブラウザ プラグイン) (VMRC Console (Browser Plug-in))] または [VMRC コンソール (スタンドアロン プラグイン) (VMRC Console (Standalone Plug-in))] を VM クライアントを起動するためのアクセス スキームとして選択します。
- ステップ 6 [続行 (Proceed)] をクリックします。  
VM クライアントが新しいブラウザ ウィンドウで起動します。
- ステップ 7 VM クライアントで、[USB デバイスの接続 (Connect USB Device)] をクリックします。
- ステップ 8 [USB デバイス (USB Devices)] ダイアログボックスで、使用可能な USB デバイスのリストから使用する USB デバイスを選択します。
- ステップ 9 [OK] をクリックします。

## USB デバイスの VMRC からの接続解除

### 手順

- 
- ステップ 1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
  - ステップ 2 [VM] タブを選択します。
  - ステップ 3 [VM] ペインで VM を選択します。
  - ステップ 4 VM を右クリックし、[VM クライアントの起動 (Launch VM Client)] を選択します。
  - ステップ 5 [クライアントの起動 (Launch Client)] ダイアログボックスで、[VMRC コンソール (ブラウザプラグイン) (VMRC Console (Browser Plug-in))] または [VMRC コンソール (スタンドアロンプラグイン) (VMRC Console (Standalone Plug-in))] を VM クライアントを起動するためのアクセススキームとして選択します。
  - ステップ 6 [続行 (Proceed)] をクリックします。  
VM クライアントが新しいブラウザ ウィンドウで起動します。
  - ステップ 7 VM クライアントで、[USB デバイスの接続解除 (Disconnect USB Device)] をクリックします。
  - ステップ 8 [USB デバイス (USB Devices)] ダイアログボックスで、選択した接続解除する USB デバイスをオフにします。
  - ステップ 9 [OK] をクリックします。
-

